

登録コード	T4020130	開講年度	2026			
授業科目	力学（20T以降）				担当教員	松原 雅春
英文授業名	Mechanics 2				副担当	
単位数	2	講義期間	後期(前半)	曜日・時限	水曜・4時限 水曜・5時限	対象学生
講義室	共通教育 6 1 講義室		授業形態	講義	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	該当					
(1)授業の達成目標	【授業で得られる「学位授与の方針」要素】			【授業の達成目標】		
	2 5 Tカリ, 2 3 Tカリ					
	【22T～】共通教育による幅広い教養と、工学の専門分野における基礎学力が身につけている。			力学の専門分野における基礎学力が身につけ、力学の基礎的な問題に対して解答できるようになる。		
(2)授業で学べる「テーマ」	キャリア					
(3)全学横断特別教育プログラム						
(4)授業の概要	毎週2コマ連続で行い、原則的に、毎回1コマ目を講義、毎回2コマ目は演習を中心とする。					
(5)授業計画	第1回（9/30）テンソル表記 第2回（9/30）相対運動（§9.2 慣性系に対して加速度を持つが回転はしていない座標系） 第3回（10/7）相対運動（慣性系に対して回転している系） 第4回（10/7）相対運動（遠心力） 第5回（10/14）相対運動（コリオリ力） 第6回（10/14）相対運動（回転系での見かけの力） 第7回（10/21）相対運動の演習 第8回（10/21）中間試験 第9回（10/28）（質点系の運動（§10.1 運動量保存の法則，§10.2 重心の運動の保存の法則） 第10回（10/28）質点系の運動（§10.3 角運動量保存の法則，§10.4 重心のまわりの角運動量） 第11回（11/4）質点系の運動（§10.5 質点系のエネルギー） 第12回（11/4）質点系の運動（重心のまわりの角運動量） 第13回（11/11）剛体のつり合いと運動（§11.1 剛体のつり合い，§11.2 固定軸を持つ剛体の運動） 第14回（11/11）剛体のつり合いと運動（§11.3 剛体の慣性モーメント） 第15回（11/18）剛体の平面運動（§12.1 剛体の平面運動）・期末試験 注意 工場見学先の都合から日程変更の可能性があります。					
(6)成績評価の方法	演習（40%）中間試験（30%）期末試験（30%）で評価。					
(7)成績評価の基準	剛体の基礎方程式が導ければ、合格水準にある。 剛体の運動におけるモーメントの意味が説明できれば、やや上にある。 剛体の基礎方程式の解が求められれば、かなり上にある。 剛体の基礎方程式の解と実際の振動現象および剛体運動の関連付けができれば、卓越している。					
(8)事前事後学習の内容	前回の内容を理解して、次の授業にのぞむこと。					
(9)履修上の注意	授業中に必ず演習を提出すること。					
(10)質問、相談への対応	授業後に質問・相談を受け付ける。					
(11)その他						
【教科書】	原島 鮮:力学I 質点・剛体の力学(新装版)，裳華房					
【参考書】	特に指定しない。					